

モデルプログラム検証 カリキュラム（実施計画・3回分）

養成・**研修** / **基礎**・専門・支援員（該当するものに○）

☆選択した内容（報告書 pp.72-76）を反映させる ★参照したモデルプログラムNO.（報告書 pp.207-244）

日時	2018年 7月27日(2.5h)、7月31日(5h)、9月19日(1.5h)			
研修・授業名	横浜市教育委員会主催「日本語指導者養成講座」(全7回、うち第3, 4, 5回)			
受講者	<ul style="list-style-type: none"> ・人数: 90名 ・年齢層: 20~60代 ・その他: 国際教室1年目担当者および日本語指導に興味がある教員 			
演題・テーマ☆	7月27日「DLA活用に向けて」(150分) 7月31日「JSLカリキュラムと授業づくり」(300分) 9月19日「国際教室の運営について」(90分)			
到達目標	日本語指導が必要な児童生徒の日本語能力を把握する「DLA」や日本語と教科の統合学習と「JSLカリキュラム」の概要を知り、国際教室での指導や運営等を学ぶことで今後の指導に活かす。			
活動展開（分）	★	方法形態	留意点	参考資料
7月27日(9:30~12:00) 「DLA活用に向けて」(150分) 講師：伊東祐郎氏（東京外国語大学） ○導入（20分） ○展開（110分） <ul style="list-style-type: none"> ・第1第2言語習得のメカニズム ・DLA概要からその構造の理解 ・DLAの使用法と活用法 ○まとめ（20分）	⑩ ⑪ ⑯ ⑰ ⑱	講義 演習	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語能力把握の必要性を確認する ・どのようなメカニズムで言語習得ができるかを確認する ・DLAの特徴と構造を理解し活用法について考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・「DLA冊子」 ・「語彙カード・基礎カード」
7月31日(9:30~15:30) 「JSLカリキュラムと授業づくり」(300分) 講師：菅原雅枝氏（東京学芸大学） 【午前】 ○導入（45分） ○展開1（105分） <ul style="list-style-type: none"> ・日本語指導のプログラム（全体像） ・日本語と教科の統合学習とJSLカリキュラム概要 【午後】 ○展開2（130分） <ul style="list-style-type: none"> ・授業づくり ○まとめ（20分）	⑤ ⑦ ⑫ ⑭ ⑮ ⑰ ⑲ ⑲	体験 話し合い 講義 演習 班活動 指導案作成	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ外国語で学ぶことが難しいかを考える ・参加者がどのような形態・内容の指導を担当しているか確認する ・前回の研修に関連させ実態把握の重要性を確認する ・担任との連携の重要性、担当経験が教員の成長を促すことを伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・「受け入れの手引き」 ・「JSLカリキュラム報告書」 ・映像資料 ・教科書、指導書

公益社団法人日本語教育学会・文部科学省委託「モデルプログラム事業」2018

<p>9月19日(15:15~16:45)</p> <p>「国際教室の運営について」(90分)</p> <p>講師：国際教室担当教員</p> <p>○導入(10分)</p> <p>○展開(50分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別の教育課程、校内の指導体制 ・日本語と教科の統合学習 等 <p>○情報交換(20分)</p> <p>○まとめ(10分)</p>	<p>⑤</p> <p>⑦</p> <p>⑧</p> <p>⑨</p> <p>⑪</p> <p>⑫</p>	<p>講義</p> <p>事例報告</p> <p>話し合い</p>	<p>・参加者の担当経験年数、学校規模に配慮する</p> <p>・参加者がどのようなことに悩みを持っているかを確認する。</p> <p>・情報交換では知りたいこと別にグループを分け個別のニーズに配慮する。</p>	<p>・国際教室発信文書</p> <p>・指導教材</p> <p>・児童生徒ファイル</p> <p>・担任との連絡ノート等</p>
--	---	-----------------------------------	--	---